＼ 第158回いたばしボランティア市民活動フォーラム ／

『誰も置き去りにしない・されない』地域社会づくりを学び合う

子どもの不登校とは？　　保護者不在の子どもたちの現状とは？

全国の長期欠席の小・中学生が50万人を超えている中で、その子どもたちや保護者が地域にも居場所を失い、孤立するケースが見受けられます。一方、保護者と別れて児童養護施設で暮らす子どもたちは、18歳になると施設を退所しなければならず、大学進学などを諦めざるを得ない現状があります。
当事者・関係者の声から、子どもたちの置かれている状況を認識し、「誰も置き去りにしない・されない」地域社会をつくるために学びあいます。

プログラム

〇第一部　事例発表

・　不登校「問題」とは何だろうか

いたばし不登校・ホームエデュケーション保護者会世話人　カモ　氏（活動ネーム）

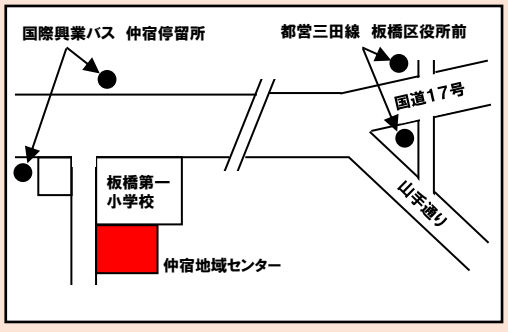
・　子どもたちの育ちを支える施設の取り組みについて

社会福祉法人松葉の園　児童養護施設まつば園園長　山川庸介　氏

〇第二部　みんなで考える「誰も置き去りにしない・されない」トークセッション

12月13日（日）

9時30分～11時45分



会場

仲宿地域センター
レクリエーションホール
（板橋区氷川町12番10号）

対象：どなたでも

定員：50名（事前申し込み）

参加費無料

申込：11月14日（土曜日）午後1時から
12月11日（金）午後12時まで電話
または下記LoGoフォームで受付

問い合わせ：まなぽーと成増
TEL: 03-3975-9706

共催：特定非営利活動法人ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし／板橋区教育委員会